



総務省

# ICTビジョン懇談会

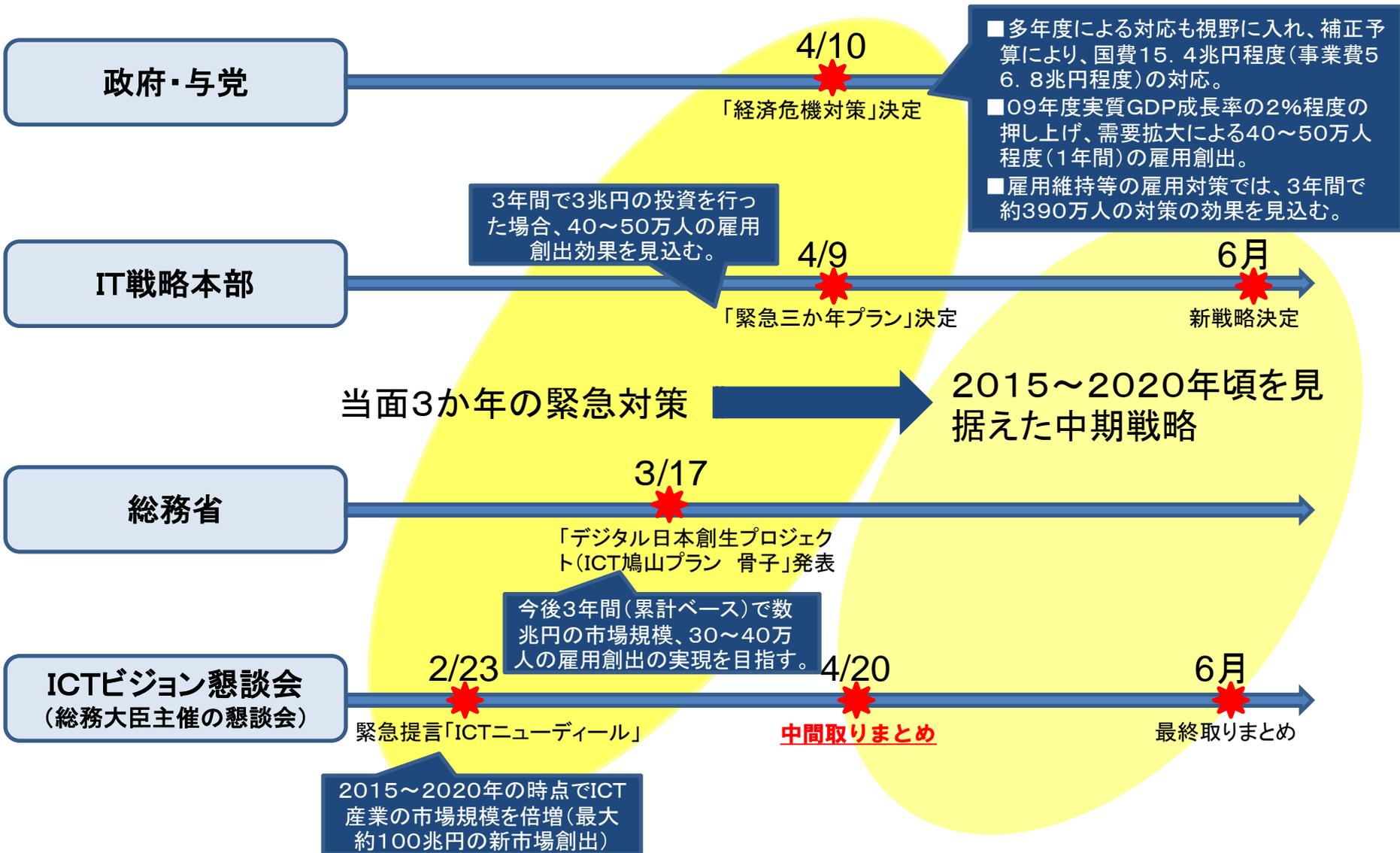
---

## 中間取りまとめ (概要)

2009年4月

総務省情報通信国際戦略局

# 経済危機対策の動向とデジタル新戦略の策定



## 知識・情報経済立国の実現

### 「知識・情報経済立国」

ユビキタスネットワーク上で、膨大なコンピューティング能力・ソフトウェア群を介して知識・情報が瞬時に流通・共有化され、それによって付加価値が創造される社会

### ICTビジョンの必要性

○知の創造や新産業創出の「触媒」としてのICT⇒国の発展を大きく左右

○人々がサイバー空間に提供する知識・情報の集積が巨大な一つの知となり、これを活用可能な社会が実現。他方、ICTの持つ負の側面の深刻化

2015年頃を視野に入れたビジョンが必要

「社会インフラ化したICTを「どのような手段として活用し、何を実現していくか」というビジョンの共有化とその推進が必要。」

### ビジョンを描く上で中心となる視点＝「経済有事」への対応

○当面は、国が主導しつつ経済危機から脱却

○中長期的には民間主導の持続的経済発展、未来の成長力強化へ

国民一人ひとりがICTの真価を実感できる社会構築を目指す。

「現在の産業構造を前提とした「成長」の段階から、ICTを基盤として社会経済構造を大胆に変革する「発展」の段階へ。」

## 現状認識

### プラスの面

○世界最高水準のブロードバンドサービスを低廉に利用可能。

○ICT産業は全産業の約1割の規模、経済成長に常にプラスの寄与。

○デジタル機器等による利便性向上、新たなネットコミュニティの創造。

○我が国のICT産業は依然として高い技術力。

○アニメ、映画、放送コンテンツ等のクリエイティブ産業の潜在成長力。

### マイナスの面

●行政、医療、教育をはじめ各分野においてICTの利活用に立ち遅れ。

●ICT関連投資は低調(実質成長率は2%台半ばまで底上げ可能)。

●ネット上での個人情報漏洩、フィッシングなどの社会問題が多数。

●サービス・製品としての競争力、国際展開力が不足。

●斬新な発想で新たな価値を生み出す人材開発力の不足。

動的なICTエコシステムの中で、  
新しい事業モデルやイノベーションが起こりやすい環境、  
各層間の好循環が生まれやすい環境  
を実現。



# ICT基盤の強化

## 世界最先端のデジタルネットワークの構築

- 地理的デジタル・ディバイドの存在
- 主要先進国もブロードバンド網整備を加速化  
(我が国として“世界を常に一步リードする”必要性)



- ネットワークの完全デジタル化の速やかな実現
- 新世代ネットワークの構築加速化
- ICTによる物流・交通流・電力流・情報流の融合による、統合的で効率的な社会基盤を構築

## デジタル新産業の創出

- 世界経済が上方に転じる局面で我が国のICT産業が瞬発力を持ってグローバル展開する必要性
- グローバル展開を視野に入れた中期的な技術戦略が必要
  - 相対的に「強み」を持つ分野の絞り込み  
(ネットワーク、ワイヤレス、映像、環境)
  - オープンモデルでの研究開発
  - 戦略分野の研究開発、核となる技術の標準化・知財戦略を総合的に組み立てる必要。



- 戦略分野の研究開発の加速化
- 研究開発体制の強化
- 標準化への戦略的取り組みの強化
- ICT関連のベンチャー投資の促進
- 高度ICT人材の育成

## 安心・安全なICT環境の実現

- ICT利活用の推進の前提としての安心・安全なICT環境の実現
- サイバー空間の活力と安心・安全とのバランスをとることが必要。



- 安心ネットづくりの推進
- サイバーセキュリティの確保

## 世界最先端のデジタルネットワークの構築

- ネットワークの完全デジタル化の速やかな実現
- 新世代ネットワークの構築加速化
- ICTによる物流・交通流・電力流・情報流の融合

✓ 2011年7月に向けたネットワークの完全デジタル化の確実な実施

✓ TCP/IPを前提としない新世代ネットワークの実用加速化

✓ 空間コードの整備、準天頂衛星システム計画の推進、ITSの導入・展開、スマート・グリッドの整備等による統合的で効率的な社会基盤の構築

## デジタル新産業の創出

- 戦略分野の研究開発の加速化

✓ アナログテレビ放送の電波跡地等を活用した「ぶつからない車」や「コードの要らない快適生活環境」を実現するための次世代無線通信技術開発の加速化

✓ 2010年代に成長が期待されるシステム等へのダイナミックな利用電波の移行・再編のためのシナリオ策定、研究開発ロードマップの策定

✓ 世界最高水準の超高速・高信頼・極小エネルギー消費型の革新ネットワーク技術の開発等の加速化、研究開発ロードマップの策定

- 研究開発体制の強化

✓ 研究開発の「顔」となるリーダーによる情報発信強化、研究開発マネジメントを担う人材の確保、オープンイノベータの登録・活用の仕組みの検討

- 標準化への戦略的取り組みの強化

✓ 標準化人材の育成、標準化段階から海外企業も参加した相互接続性確保

- ICT関連のベンチャー投資の促進

✓ ICT関連ファンドの創設、ICT関連投資を促進するための税制措置の検討

- 高度ICT人材の育成

✓ 産業界の提供する講師、教材等の共有化、クラウド技術を使った実践的な遠隔教育システムの開発促進

## 安心・安全なICT環境の実現

- 安心ネットづくりの推進

✓ 産学関係者による「安心ネットづくり」の取り組みの推進、ライフログ情報に関する基本的ルール整理に向けた課題整理

- サイバーセキュリティの確保

✓ セキュリティリスクを取り除くための実証環境整備、情報セキュリティ人材の育成、普及啓発活動の推進等

## 重点分野を中心とした情報化の推進

- 地域活性化のためにICTの利活用を促進することが必要。
- 国民がICTの真価を実感できる領域での集中的な取組みが必要。
  - 情報化への取組みが相対的に遅れている分野に重点化
  - 地域活性化や住民サービスの向上の効果が期待できる分野を選択



## 政府部門（革新的電子政府の構築）

- 霞ヶ関クラウドの構築
- 国民電子私書箱の実現
- 自治体クラウドの構築等
- ナショナルデジタルアーカイブの構築

## 産業部門（医療・教育・農業の情報化）

- 医療分野
- 教育分野
- 農業分野

## 地域コミュニティ部門

## ICTの利活用を促進するための 制度見直し

- 「e-Japan戦略Ⅱ」以降取り組んできた制度見直しの遅れ
- IP化・ブロードバンド化による通信・放送市場の構造変化



- ICTの利活用を想定していない制度見直し
- 通信・放送の総合的な法体系の見直し等

## 政府部門（革新的電子政府の構築）

■ 霞ヶ関クラウドの構築

■ 国民電子私書箱の実現

■ 自治体クラウドの構築等

■ ナショナルデジタルアーカイブの構築

✓ 各府省システムのバックオフィス連携、法人コードの共通化

✓ 「プッシュ型」のワンストップ行政の実現（デジタル行政サービスは国民の権利）

✓ 複数の都道府県における「自治体クラウド」の先行的な開発実証、電子申請に関する住民サポート体制の充実、新たな公的個人認証の基盤システムの開発等

✓ 国立国会図書館等の知識・文化のアーカイブ化、フォーマットやメタデータの標準化、行政情報のAPI公開による民間情報とのマッシュアップの推進

## 産業部門（医療・教育・農業の情報化）

■ 医療分野

✓ レセプトのオンライン化（代行事務支援を含む）や電子カルテの導入促進

✓ 遠隔医療の推進、無線タグの活用促進

✓ 健康情報活用基盤の導入（個人の自己管理による健康医療情報の活用等）

✓ 教師からの相談体制の整備、ASP・SaaSを活用した校務の情報化

✓ 校内LAN、電子教材・電子黒板の活用、エデュテイメント型教材の導入推進

✓ 携帯電話網、衛星画像、無線タグなどを活用した農作業の効率化等

✓ 農業のICT活用についての全体的なビジョン策定（関係府省が連携）

■ 教育分野

■ 農業分野

## 地域コミュニティ部門

✓ 各地域ブロックごとの文化・特性が発揮されるICTを活用した地域基盤づくり（中小企業等の支援）、地方ベンチャーの全国・国際展開の支援

✓ 公共機関等のブロードバンド網の整備とユビキタス技術を集中投下した安心・安全な街づくり（ユビキタスタウン）の推進

✓ オープンソース型のソフトウェア開発の支援（ASP・SaaSによる全国への提供基盤の実現、地域の特性に応じた自由な改変が可能）

## ICTの利活用を促進するための制度見直し

■ ICTの利活用を想定していない制度見直し

✓ IT戦略本部を中心とした集中的な制度見直し

■ 通信・放送の総合的な法体系の見直し等

✓ 情報通信市場における公正競争ルールの整備推進

✓ 通信・放送の総合的な法体系の見直しの推進

## クリエイティブ産業の育成

□ 個人がコンテンツを生成・発信する「知識創発社会」の形成

□ 「知識創発社会」の基盤の上でのクリエイティブ産業が発展(⇒さらに「知識創発社会」の一層の発展を生み出す好循環)

□ 「コンテンツ」の概念を行政、産業等の領域まで広く捉え、クリエイティブ産業を育成

□ コンテンツ配信チャネルの多様化、通信・放送の融合・連携の進展



コンテンツ制作力の強化

コンテンツ制作・発信力を支える人材育成

コンテンツ取引市場の整備

プラットフォーム機能の連携強化

## コンテンツ制作力の強化

✓地方の映像コンテンツの制作と全国・海外への発信の支援

✓次世代デジタルサイネージの開発・普及、グローバル展開の推進

✓コンテンツ制作者のデザイン力を活かしたUI(User Interface)をモノ作りやサービス開発等への活用することを促進

## コンテンツ制作・発信力を支える人材育成

✓「映像コンテンツ制作力」等を養成する授業・カリキュラムの小中学校への導入

✓国内外のクリエイター志望者を対象とした人材育成プログラムの検討

## コンテンツ取引市場の整備

✓放送コンテンツの著作権者等に関する情報を一元管理する運用組織の構築

✓ネット上のコンテンツの不正流通を監視・警告する体制整備の支援

## プラットフォーム機能の連携強化

✓多様な配信経路を通じたコンテンツ流通を促進するための認証・課金等のプラットフォーム機能の連携強化

## 課題挑戦先進国への転換

□ 「少子高齢化先進国」として「課題解決先進国」になるべくICTの積極的な利活用を図る必要性

□ 地球規模の課題に他国とともに挑戦する必要性



■ 環境問題(ユビキタス・グリーンICTの推進)

■ その他の地球規模の課題  
(食料問題、水資源問題、宇宙・海洋開発等)

## ICT産業のグローバル化への推進 (競争力と共生力の強化)

□ 経済システムのグローバル化とフラット化の進展、少子高齢化の中で中期的に縮小する内需を外需で補う必要性

□ 国境のないサイバー社会における新たな問題の発生



■ 国際競争力の向上

■ グローバルコンセンサスの醸成促進

## 課題挑戦先進国への転換

### ■ 環境問題(ユビキタス・グリーンICTの推進)

✓ICT産業そのもののグリーン化(グリーンデータセンタの構築支援、省電力型のエコインターネット、オール光通信技術等の重点開発の推進)

✓ICTを活用した環境対策(テレワークの推進、IPv6ベースのオープンセンサーネットワークを使った省電力型の街づくり等の推進)

✓ICTの活用策について、引き続き検討

### ■ その他の地球規模の課題 (食料問題、水資源問題、宇宙・海洋開発等)

## ICT産業のグローバル化の推進 (競争力と共生力の強化)

### ■ 国際競争力の向上

✓相手国のニーズに対応したモデルシステムの現地構築により、技術の優位性の「見える化」を図るプロジェクト等の推進

✓ユビキタス特区などで実証されたシステム・サービスの海外展開の推進

✓開発途上国の自立的なシステム運用を促すための技術移転、マイクロファイナンスの導入などを一体的に行う仕組みの構築

✓「アジア知識・情報流通圏」を確立するための共同研究、政策対話、産学官連携プロジェクト等を一体的に展開する「アジア知識・情報流通圏構築イニシアティブ」の推進

✓アジア、中東、アフリカに至る共同国際研究や共同人材研修を拡充する「デジタルシルクロード構想(仮称)」の推進

✓クラウドコンピューティングに関する利用者への情報提供の仕組み作りや、複数のクラウド間の相互運用の在り方、「情報安全保障」の確保等に関し、国際的ルールとして確立すべき事項の議論の加速化

✓インターネットガバナンスに関する議論の加速化

✓CGMに関する著作権ルールなど、サイバー空間における制度運用ルールの在り方等に関する検討

### ■ グローバルコンセンサスの醸成促進

- ・我が国のスタンスの明確化
- ・閣僚級を含む政府間協議、産学官フォーラムの開催等

# 推進方策

## 推進方策

政府全体の推進母体である  
IT戦略本部・知的財産戦略本部の機能の抜本的強化

総務省としての行動計画の策定

PDCAサイクルによる運用

(行動計画⇒第三者による進捗状況の評価⇒プログレスレポートの公表⇒計画改定)

評価基準としてのわかりやすいベンチマークの設定

(システム整備率等の供給側のベンチマークに加え、  
国民の利用率、使い勝手、満足度などの利用者側のベンチマークの設定を検討)

(参考)

- ✓4月20日、中間取りまとめを公表予定。
- ✓懇談会を残り2回(5月、6月)開催し、最終報告書を取りまとめる予定。